

## 吸管備え付け型枕木の開発について

八女消防本部（福岡県） 甲木 哲二

### 1 問題点及び機器考案に至った経緯

従来までの枕木は、吸管投入後に車両まで取りに戻る必要があった。また、吸管的揺れ振動等により、吸管接地部から枕木がズレることがあり、取付金具も容易に緩みやすく、枕木の形状も板状であることから、河川や水槽への落下も危惧されるため、吸管備え付け型枕木の開発を行った。

### 2 開発した吸管備え付け型枕木の効果

吸管と一体のため、吸管設定時に車両まで枕木を取りに戻る必要がなく、吸管伸長後も素早く設定することができ、水利確保にかかる時間の短縮を図ることが出来る。

また、吸管に備え付けた状態としているため、落下や紛失等の心配はなく、揚水時に吸管接地部からの枕木のズレが軽減できる。

### 3 構造

長さ30cm程の塩ビ管に緩衝材（耐震ゴム等）を取り付け、塩ビ管に吸管を通す。固定用のマジックテープを吸管に紐で結びつける。

### 4 検証と結果

揚水作業時に枕木を車両へ取りに戻る必要がなく、設定もスムーズに行うことができ、水利確保にかかる時間の短縮に繋がった。

また、以前の枕木と比較しても振動等によるズレが軽減されたため、吸管保護の面においても効果的であった。



写真1 塩ビ管に耐震ゴムを取付けた状況



写真2 塩ビ管に固定バンドをロープで取付けた状況



写真3 吸管備え付け型枕木設定状況

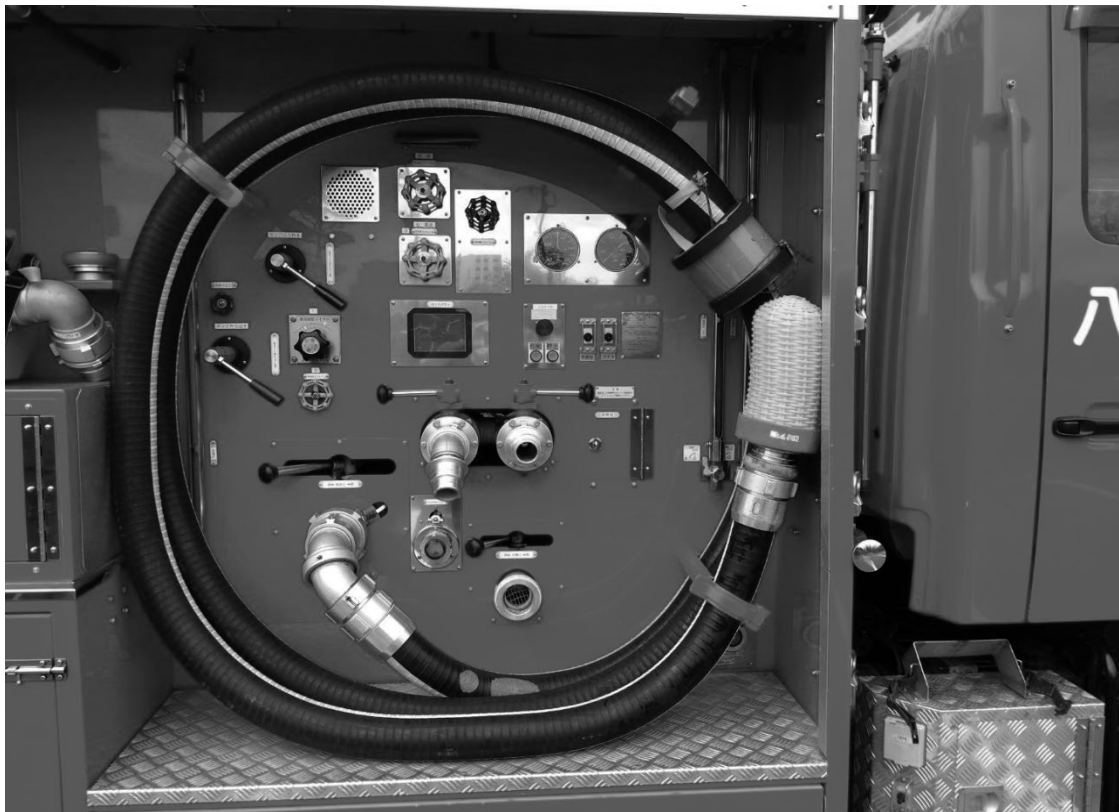


写真4 吸管備え付け型枕木設定状況



写真5 吸管備え付け型枕木設定状況（拡大）



写真6 吸管延長時の状況



写真7 吸管備え付け型枕木使用状況



写真8 吸水時の吸管備え付け型枕木の状況



写真 9 吸管備え付け型枕木内部と吸管の状況



写真 10 固定バンドを緩めた状況（取付位置変更可能）



写真 1 1 紐（黄色）を引きロックすることで吸管に固定

